

「令和5年度 市民と医療・介護関係者のための合同公開講座」 開催要領
「令和5年度市民公開講座」「第3回在宅療養を支えるスタッフのための多職種連携研修会」合同開催

1 目的

高齢期になると、加齢に伴う心身機能の衰えから、日常生活において医療や介護が必要になることや、容体が急変して入院することがある。また、退院後は在宅医療や介護が必要となる場合や、あるいは在宅療養中に容体が急変し、看取りに至ることも想定される。

ライフサイクルにおいて、場面ごとに必要な医療と介護のサービスの比重は変わるものの、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしく人生の最期まで生活するためには在宅医療や介護を一体的に提供することが重要で、在宅医療や介護を受ける本人・家族の理解や協力と支える専門職の連携が不可欠である。

また、市民と専門職がそれぞれの立場で人生の最終段階におけるケアのあり方や看取りについて理解し、これから受ける医療やケアについて、自分の考えを家族・代理人や専門職と話し合い、希望や思いが医療やケアに反映されるための意思決定や支援ができるよう、人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）を普及啓発する必要がある。

そこで、本講座では、市民と専門職を対象に、在宅医療や介護に関する基礎知識や人生会議への理解を深めるとともに、在宅医療や介護に必要な連携は何か、市民と専門職がともに考え交流する機会を図る。

2 テーマ

最期まで自分らしく生きるために～知っておこう！在宅医療・介護と人生会議のこと～

3 学習目標

- (1) 【市民】在宅医療や介護、それを支える専門職について理解を深めることができる。
- (2) 【市民】市民自らがこれからの生き方を考え、誰かに伝えることの大切さを理解し、その実践方法を知ることができる。
- (3) 【専門職】医療と介護の連携した対応が求められる4つの場面において、他職種の視点や専門性を理解し、専門職として共通認識しておくことが望ましい基礎的事項と実践例について学びを深めることができる。
- (4) 【専門職】支援者として、介入時に相手の立場に立って考え、どのような支援が必要か、どのような行動（対策）をとることが必要か、理解を深めることができる。
- (5) 市民と専門職が出会い、ともに考え交流することで繋がることことができる。

4 日時

令和6年3月3日（日） 13：30～15：30（13：00開場）

5 開催方式

参集型

6 場所

呉市生涯学習センター 音楽ホール 呉市中央6丁目2番9号（つばき会館4階）

7 対象（定員）＊事前申込制，先着順＊

テーマに関心のある呉市民（80名）

テーマに関心のある医療・介護関係者（80名）

8 内容

(1) 寸劇「医療と介護が必要になっても 私らしく生きる このまちで」

在宅療養者の生活の場において、医療と介護の連携が求められる「日常の療養支援」「入退院支援」「急変時の対応」「看取り」の4つの場面と「人生会議」の場面を想定し、寸劇と解説を通して、誰もが日常の療養生活から入退院、自宅での生活を再開するまでの流れ、在宅療養や看取り、人生会議がイメージできるよう構成する。

(2) ディスカッション（質疑応答）

事前に市民と専門職から受け付けた質問等について、寸劇の中で演者（専門職）が回答する。

(3) 呉市からのお知らせ

ア 人生の彩ノート

イ くれ福祉のお役立ちサイト「しっとってクレ」

9 周知方法

(1) 呉市ホームページ

(2) 呉市政だより 2月号（1/10発行）12月原稿提出

(3) 呉市公式SNS（Facebook, LNE, X）

(4) しっとってクレ「お知らせ」に掲載（市民サイト、関係者サイト）

(5) 呉市見守りネットワーク事業協定締結事業者からの配布

(6) 居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターから利用者及び家族への配布

(7) 医療機関（医科・歯科・薬科）にチラシ配置

(8) 介護サービス事業所（包括・居宅介護支援事業所）にチラシ配置

(9) 市民センター・まちづくりセンターにチラシ配置

10 申込方法

WEB（Google フォーム）、FAX、はがきのいずれか

11 評価方法

公開講座後アンケートにて学習目標への到達度を確認する

12 経費

呉市医師会への委託事業費より支出

13 共催・後援（予定）

共催依頼 呉市医師会

後援依頼 安芸地区医師会、呉市歯科医師会、安芸歯科医師会、呉市薬剤師会、広島県看護ステーション協議会、地域リハビリテーション広域支援センター（呉圏域）、広島県医療ソーシャルワーカー協会、広島県栄養士会、呉市介護支援専門員連絡協議会、呉市社会福祉施設連絡協議会、広島県訪問介護事業連絡協議会（広島南ブロック）、呉市老人クラブ連合会、清水ヶ丘高等学校、ケムコ商事株式会社